

東京オリンピック関連株に再注目 ～開催まで残り1年！～

2019年7月

岡三証券株式会社
投資戦略部 日本株式戦略グループ
シニアストラテジスト
永谷 亘

東京オリンピック開催まで残り1年程に

※撮影:岡三証券

《第1次チケット販売の抽選結果が発表》



2020年 7月 31日
09:00 - 12:30

当選

陸上競技

男子・女子／予選
[TOATH01] ♂ ♀

ヘリテッジゾーン
オリンピックスタジアム

チケット当選の場合

This card provides information about the first lottery draw for Tokyo 2020 Olympic and Paralympic tickets. It specifies the date (July 31, 2020) and time (9:00 - 12:30). A large red circle on the right indicates a "Winning Draw" (当選). The event is listed as "陸上競技" (Athletics). Below that, it shows "男子・女子／予選" (Men/Women / Preliminary) with the code "[TOATH01]" and gender icons. At the bottom, it mentions the venue as "ヘリテッジゾーン オリンピックスタジアム" (Heritage Zone Olympic Stadium).

来年夏に開催される東京五輪の第1次チケット販売の抽選結果発表が6月行われた。サイトへの入場に100万人待ちが表示され、待ち時間が1時間以上となる場合も。東京オリンピック・パラリンピック開催まであと1年程に迫り、今後は経済などが盛り上がりっていく可能性がある。

東京オリンピック開催の経済効果は絶大

※出所：東京都オリンピック・パラリンピック準備局

※作成：岡三証券

《東京オリンピックの経済効果》

東京都試算（単位：億円）	東京	全国
直接的効果 (競技会場の設備費、大会運営費など)	33,919	52,162
レガシー効果 (交通インフラ整備、バリアフリー対策など)	170,488	271,017
総計	204,407	323,179

東京オリンピックの経済効果は、東京都の試算によると、**東京都だけでおよそ20兆円、全国的にはおよそ32兆円**にのぼるとされる。競技施設の整備や大会の観戦など直接的な効果だけではなく、オリンピック開催に併せて日本を訪れる外国人観光客の日本での消費などの効果も期待される。

直接的効果：競技会場の設備費、警備や輸送などの大会運営費、大会観戦者の支出、企業のマーケティングなど

レガシー効果：交通インフラ整備、バリアフリー対策、訪日観光客数の増加、スポーツ人口やイベントの拡大など

東京オリンピックは東京以外でも一部競技を実施へ

※東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※作成：岡三証券

《東京以外での競技実施例》

会場一覧	競技名	会場一覧	競技名
福島あづま球場	野球・ソフトボール	釣ヶ先海岸サーフィンビーチ	サーフィン
横浜スタジアム	野球・ソフトボール	さいたまスーパーアリーナ	バスケットボール
札幌ドーム	サッカー	陸上自衛隊朝霧訓練場	射撃
宮城スタジアム	サッカー	霞ヶ関カンツリー倶楽部	ゴルフ
茨城カシマスタジアム	サッカー	伊豆ベロドローム	自転車競技（トラック）
埼玉スタジアム2002	サッカー	伊豆MTBコース	自転車競技（マウンテンバイク）
横浜国際総合競技場	サッカー	富士スピードウェイ	自転車競技（ロード）

東京オリンピックは東京以外の地域で競技の一部が実施される。

例）野球・ソフトボール：福島県、神奈川県、 サッカー：北海道、宮城県、埼玉県、茨城県、神奈川県

各自治体も熱い視線を送る

※出所：内閣官房
※作成：岡三証券

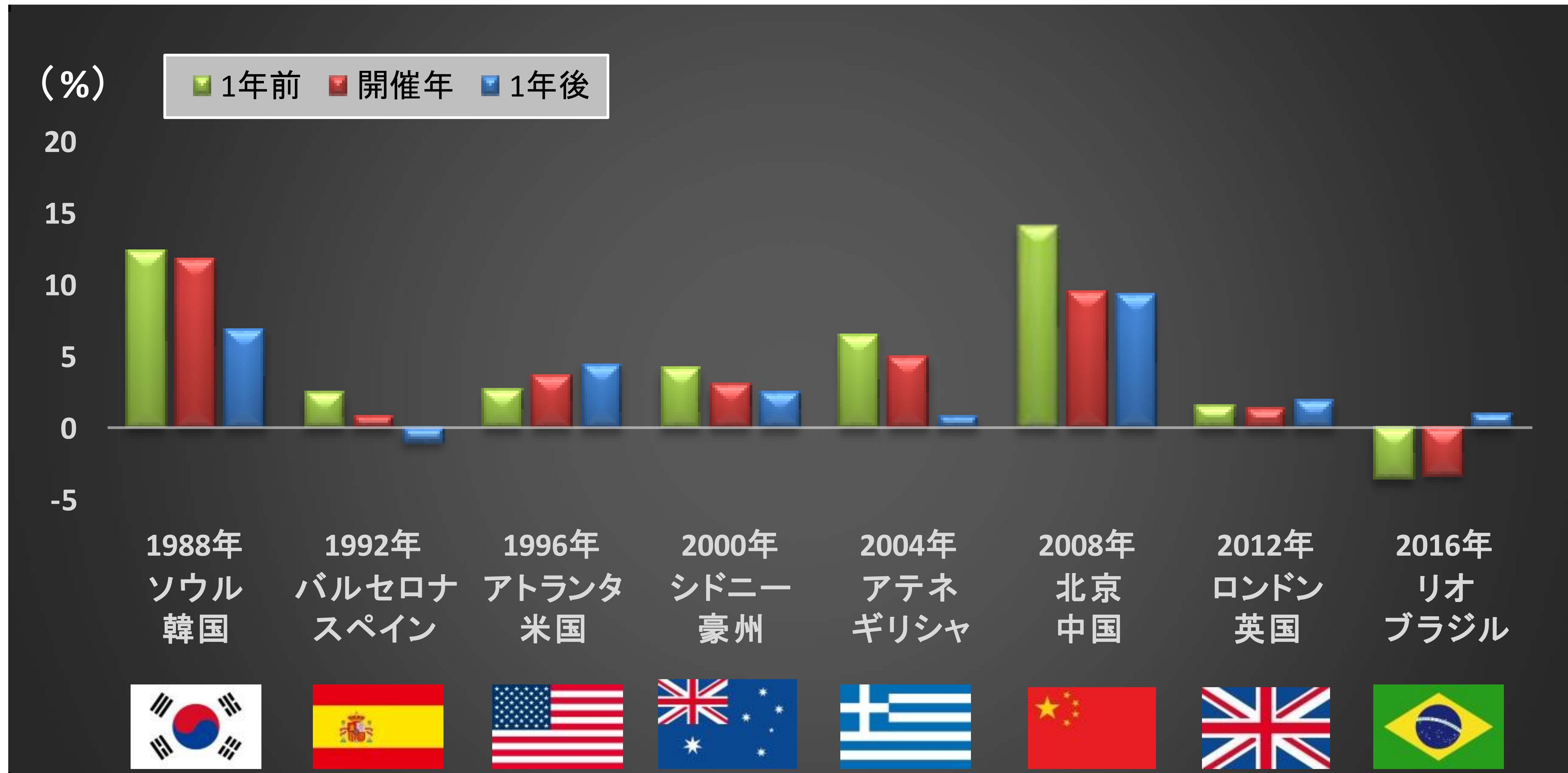


各自治体が熱い視線を送るのが、内閣官房の「ホストタウン」認定。これはオリンピック参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る自治体を、国が合宿招致や受け入れ態勢などの整備を支援する制度。交流計画の例として、大会期間中、大会後に選手がホストタウンを訪問し、地元の方と様々な交流を行うなどの大会後の効果なども期待される。

大会後の景気後退リスクの回避が重要

※作成:岡三証券

《五輪開催前後の開催国の実質GDP成長率(前年比)》



過去のオリンピックにおいて、開催国の経済成長を振り返ってみると、オリンピック後に経済成長が鈍化した国も散見される。今回の東京オリンピックでは、各競技施設や宿泊施設などの有効活用のほか、オリンピックにあわせて日本を訪れた外国人にリピーターになってもらうための取り組み・アイディアが必要になりそうだ。

今、改めて注目したい東京オリンピック関連銘柄

※出所:QUICK、時価総額は6/28時点

※作成:岡三証券

《主な関連銘柄》

関連銘柄	東証業種名	時価総額 (億円)	概要
3048 ビックカメラ	小売業	1,991	都市型家電量販店「ビックカメラ」を展開
3086 Jフロント	小売業	3,341	大丸と松坂屋の統合により誕生
4661 OLC	サービス業	48,516	東京ディズニーリゾートを運営
7936 アシックス	その他製品	2,216	東京オリパラ日本選手団の公式ウェア
8281 ゼビオ	小売業	587	スポーツ用品専門店業界大手
8801 三井不動産	不動産業	25,901	総合不動産デベロッパー最大手
9009 京成電鉄	陸運業	6,767	関東私鉄大手で、成田空港への接続に強み
9020 JR東日本	陸運業	38,488	山手線など五輪前後の移動需要
9022 JR東海	陸運業	44,455	東海道新幹線を要する。五輪前後の移動需要
9706 空港ビル	不動産業	3,882	羽田空港国内・国際ターミナルビル管理運営会社
9716 乃村工	サービス業	1,613	展示施設等のディスプレー等を手掛ける
9740 CSP	サービス業	738	JR東日本が筆頭株主の警備保障会社
9766 コナミHD	情報・通信業	7,247	五輪後のスポーツ需要の拡大期待

大手ゼネコンなどは、オリンピック前の建設需要などの恩恵を受けることがイメージしやすいため、大手ゼネコン以外に東京オリンピックの波及効果などが期待できる企業に注目。

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがあります、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<http://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

地域別の開示事項

日本:

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,240円(税込み)の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,240円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいただきません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,480円(税込み)を上限として口座振替手続料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.242%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.242%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.35%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滯もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.08%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

　お申込時に直接ご負担いただく費用：お申込手数料(お申込金額に対して最大3.78%(税込み))

　保有期間中に間接的にご負担いただく費用：信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.2312%(税込み))

　換金時に直接ご負担いただく費用：信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)

　その他の費用：監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく　費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。

- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。

- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。

- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.242%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

○自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

○2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

香港:

本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亞洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亞洲)有限公司にお願いします。

米国:

本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934年米国証券取引所法に基づく規則15a-6に規定される米国主要機関投資家のみに配信されたものです。岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートで言及されている銘柄の売買注文は、アーバック・グレイソン社を通して執行いたします。

なお、本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。

さらに、本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有しておりません。また、当該アナリストは、アーバック・グレイソン社または他の業者の関係者ではありません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構(FINRA)規則の適用の対象ではありません。

その他の地域:

本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。

地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等をすることが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2017年7月改定)